

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理国語	単位数	2
		学年等	6年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：『論理国語』（大修館書店）〈継続〉</p> <p>副教材：『三訂版 プログレス現代文総演習 完成編』（いいずな書店）</p> <p>『共通テスト国語過去問題』（尚文出版）</p> <p>『共通テスト対策 新しい第3の現代文 集中完答 11』（尚文出版）</p> <p>『得点奪取 現代文 記述・論述対策 三訂版』（河合出版）〈文系のみ〉</p> <p>『漢字マイスター頻出漢字熟語 3000』（第一学習社）〈継続〉</p> <p>『読解を深める現代文単語』（桐原書店）〈継続〉</p> <p>『完成日本文学史ノート増補三訂版』（京都書房）〈継続〉</p> <p>『名作を味わう定番小説選』（数研出版）〈継続〉</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けている。</p> <p>ア 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p>イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>ウ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>エ 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>(2) 文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるように指導する。</p>	<p>(1) 書くこと</p> <p>ア 実社会やな学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。</p> <p>イ 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。</p> <p>ウ 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。</p> <p>エ 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。</p> <p>オ 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の</p>	<p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるように努めている。</p> <p>(2) 多様な文章の特徴を知り、文章の構成や表現の仕方、語感等を基に考察し、他者とのかかわりの中で伝え合い、自分の思いや考えを広げようとしている。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとしている。</p> <p>(4) 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>

	<p>ア 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>イ 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。</p> <p>ウ 推論の仕方について理解を深め使っている。</p> <p>(3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けている。</p> <p>ア 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めること。</p>	<p>主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。</p> <p>カ 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりしている。</p> <p>(2) 読むこと</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。</p> <p>イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。</p> <p>ウ 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。</p> <p>エ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。</p> <p>オ 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。</p> <p>カ 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。</p> <p>キ 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	自己と他者 『贈り物』としてのノブレス・オブリージュ (内田樹)	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・報告書、論述、要約、発表、レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート

	コミュニケーションの手段 「記号的メディアと物理的メディア」 (伊藤亜紗) メディアの変容 「ポスト真実時代のジャーナリズムの役割」 (国谷裕子) 環境へのまなざし 「地球システムの中の人間」(竹内啓)		等	
	評価点	200	200	200
2 セメ	○問題演習	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・論述、要約、発表 等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
		200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	自己と他者 『贈り物』としてのノブレス・オブリージュ(内田樹)	6
	5		5
	6	コミュニケーションの手段 「記号的メディアと物理的メディア」(伊藤亜紗)第1回考査	8
	7	メディアの変容 「ポスト真実時代のジャーナリズムの役割」(国谷裕子)	6
	8	環境へのまなざし	3
	9	「地球システムの中の人間」(竹内啓)第2回考査	7
	2セメ	10	○問題演習 ・問題演習によってここまで学習してきた内容の復習をする
11	第3回考査	6
12		○問題演習 ・問題演習によってここまで学習してきた内容の復習をする	6
1			6
2	第4回考査	8
3			2

5 その他

○「論理国語」では文章の種類を踏まえた上で、内容を多面的、多角的にとらえていく科目です。目の前の文章の内容を踏まえるのはもちろんですが、批判的な観点から別の主張をする文章なども読んでいきましょう。また、読むだけでなく、書く活動も行います。積極的に自身の考えを文字に起こし、互いの意見を交流させながら、学びを深めていきましょう。レポートの作成や報告書、小論文などの言語活動も評価の対象になります。

○ 一部 ICT を活用して、振り返りなどの学習活動を行うことがあります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典探究	単位数	3
		学年等	6年文型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書副教材等	<p>教科書：『古典探究 古文編』(数研出版)＜継続＞</p> <p>『古典探究 漢文編』(数研出版)＜継続＞</p> <p>副教材：『八訂版 読解をたいせつにする体系古典文法』(数研出版)＜継続＞</p> <p>『読んで見て覚える重要古文単語 315』(桐原書店)＜継続＞</p> <p>『読んで見て聞いて覚える古文攻略マストアイテム 76＜常識・文法・和歌＞改訂版』＜継続＞</p> <p>『三訂版 体系漢文』(数研出版)＜継続＞</p> <p>『完成日本文学史ノート増補三訂版』(京都書房)＜継続＞</p> <p>『改訂版プログレス古典総演習 完成編』(いっずな書店)</p> <p>『三訂版 古典文法習得のための助動詞マスターノート』(数研出版)＜継続＞</p> <p>『改訂版 古典文法習得のための敬語マスターノート』(数研出版)＜継続＞</p> <p>『改訂版 漢文重要語マスターノート』(数研出版)＜継続＞</p> <p>『改訂版 漢文句法マスターノート』(数研出版)＜継続＞</p> <p>『新版 古典文法習得のための 助詞マスターノート』(数研出版)</p> <p>『基礎からのジャンプアップノート古文読解・演習ドリル』(旺文社)＜継続＞</p> <p>『得点奪取 古文 記述対策 改訂版』(河合出版)</p> <p>『共通テスト国語過去問題 』(尚文出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けている。</p> <p>ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>イ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。</p> <p>ウ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p>	<p>(1) 読むことに関する次の事項を身に付けている。</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</p> <p>イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</p> <p>ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>エ 作品の成立した背景や他の作</p>	<p>・言葉がもつ価値への認識を深めている。</p> <p>・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>

	<p>エ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</p> <p>(2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けている。</p> <p>ア 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</p> <p>イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</p> <p>ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</p> <p>エ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</p>	<p>品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</p> <p>オ 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>カ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>キ 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。</p> <p>ク 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	○随筆 「二月つごもりごろに」『枕草子』 「宮に初めて参りたるころ」『枕草子』 ○漢詩 「鹿柴」「江南春」「梅花」「寄李儋・元錫」 ○日記 「鷹」『蜻蛉日記』 「土御門邸の秋」『紫式部日記』 ○文章 「桃花源記」	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・論述、要約、レポート等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
	評価点	200	200	200
2 セメ	○問題演習	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・論述、要約、レポート等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	○随筆 「二月つごもりごろに」『枕草子』	9
	5	「宮に初めて参りたるころ」『枕草子』	7
	6	○漢詩 「鹿柴」「江南春」「梅花」「寄李儋・元錫」第1回考査	12
	7	○日記 「鷹」『蜻蛉日記』 「土御門邸の秋」『紫式部日記』	9
	8		5
	9	○文章 「桃花源記」第2回考査	10
2セメ	10	○問題演習	10
	11		9
	12第3回考査	9
	1	○問題演習	9
	2		12
	3第4回考査	4

5 その他

- 「古典探究」の授業では、古文、漢文などを読みます。古文単語や漢文の語彙を調べる必要があるため辞書は必須です。
- 一部 ICT を活用して、振り返りなどの学習活動を行うことがあります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典探究	単位数	2
		学年等	6年理型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書副教材等	<p>教科書：『古典探究 古文編』(数研出版)＜継続＞ 『古典探究 漢文編』(数研出版)＜継続＞</p> <p>副教材：『八訂版 読解をたいせつにする体系古典文法』(数研出版)＜継続＞ 『読んで見て覚える重要古文単語 315』(桐原書店)＜継続＞ 『読んで見て聞いて覚える古文攻略マストアイテム 76＜常識・文法・和歌＞改訂版』＜継続＞ 『三訂版 体系漢文』(数研出版)＜継続＞ 『完成日本文学史ノート増補三訂版』(京都書房)＜継続＞ 『改訂版プログレス古典総演習 完成編』(いいずな書店) 『三訂版 古典文法習得のための助動詞マスターノート』(数研出版)＜継続＞ 『改訂版 古典文法習得のための敬語マスターノート』(数研出版)＜継続＞ 『改訂版 漢文重要語マスターノート』(数研出版)＜継続＞ 『改訂版 漢文句法マスターノート』(数研出版)＜継続＞ 『新版 古典文法習得のための 助詞マスターノート』(数研出版) 『基礎からのジャンプアップノート古文読解・演習ドリル』(旺文社)＜継続＞ 『共通テスト国語過去問題』(尚文出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けている。</p> <p>ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>イ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。</p> <p>ウ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>エ 古典の作品や文章に表れてい</p>	<p>(1) 読むことに関する次の事項を身に付けている。</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</p> <p>イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</p> <p>ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古</p>	<p>・言葉がもつ価値への認識を深めている。</p> <p>・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>

	<p>る、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</p> <p>(2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けている。</p> <p>ア 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</p> <p>イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</p> <p>ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</p> <p>エ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</p>	<p>典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</p> <p>オ 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>カ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>キ 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。</p> <p>ク 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	○随筆 「二月つごもりごろに」『枕草子』 ○漢詩 「鹿柴」「江南春」「梅花」「寄李儋・元錫」 ○日記 「土御門邸の秋」『紫式部日記』 ○文章 「桃花源記」	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・論述、要約、レポート等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
	評価点	200	200	200
2 セメ	○問題演習	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・論述、要約、レポート等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
----	---	----------	----

1セメ	4	○随筆 「二月つごもりごろに」『枕草子』	6
	5	○漢詩 「鹿柴」「江南春」「梅花」「寄李儋・元錫」	7
	6第1回考査	7
	7	○日記 「鷹」『蜻蛉日記』	7
	8	「土御門邸の秋」『紫式部日記』	2
	9	○文章 「桃花源記」第2回考査	6
2セメ	10	○問題演習	6
	11		8
	12第3回考査	6
	1	○問題演習	6
	2		6
	3第4回考査	3

5 その他

- 「古典探究」の授業では、古文、漢文などを読みます。古文単語や漢文の語彙を調べる必要があるため辞書は必須です。
- 一部 ICT を活用して、振り返りなどの学習活動を行うことがあります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理探究	単位数	4
		学年等	6年文系 地理選択者

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>私たちが暮らす日本社会は今、高度情報化や少子化・高齢化の進展、外国からの旅行者や労働者の流入などにより、異文化への理解や、新しい環境を受け入れる意識が必要とされる。そのために、多様な自然と人間の相互関係や、その文化に注目することは重要な意義となり、その資質・能力を育成することを目指していく。</p> <p>(1)グローバル化や情報化、少子高齢化など、急激な社会の変化を地理的な視点で捉えながら、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を身に付ける。(2)現代世界における地理的認識を深めながら、地理的技能や地理的見方・考え方を習得する。(3)主体的に社会の形成に参画する態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:地理探究(二宮書店)、新詳高等地図(帝国書院)</p> <p>副教材:ウイニングコンパス地理の整理と演習(東京法令出版)、新編地理資料 2023(東京法令出版)、2023 データブック・オブ・ザ・ワールド Vol35(二宮書店)、サクシード地理(啓隆社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国及び世界の生活・文化の地域的特色や防災、地域的・地球的課題への取組などに関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	現代世界の地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っているか。	現代世界の地理的諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしているか。
評価点	200	200	200

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	第Ⅰ編 現代世界の系統地理的考察 第4章 人口、村落・都市 第5章 文化と国家 第Ⅱ編 現代世界の地誌的考察 第1章 地域区分 第2章 現代世界の諸地域	考査・小テスト	考査・小テスト	学習態度 授業プリント提出 作業プリント提出
	評価点	100	100	100
2 セメ	第Ⅲ編 現代世界におけるこれからの日本の国土像	考査・小テスト	考査・小テスト	学習態度 授業プリント提出 作業プリント提出
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	第Ⅰ編 現代世界の系統地理的考察 第4章 人口、村落・都市 ①人口	100
	5	②村落・都市 第5章 文化と国家 ①生活・文化と言語・宗教	
	6	②国家とその領域 第Ⅱ編 現代世界の地誌的考察 第1章 地域区分 第2章 現代世界の諸地域	
	7	①中国 ②朝鮮半島 ③東南アジア ④南アジア ⑤西アジア・中央アジア	
	8	⑥北アフリカ・サブサハラアフリカ	
	9	⑦ヨーロッパ ⑧ロシア	
	10	⑨アングロアメリカ ⑩ラテンアメリカ ⑪オーストラリア	
	11	⑫ニュージーランドと島嶼国 第Ⅲ編 現代世界におけるこれからの日本の国土像	
	12 1	総復習演習	
2セメ		60	

5 その他

【年間の学習状況の評価方法】 1セメスタから2セメスタまでの評価を総合し、年間の評価とする。

【シラバスについて】 シラバスは予定であり、大きな変更を伴うことがある。

【授業プリントの評価について】 考查ごとの提出を求めます。プリントの整理については、板書事項だけではなく、その他説明など、より丁寧に記録することを求めます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理探究	単位数	3
		学年等	6年理系 地理選択者

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>私たちが暮らす日本社会は今、高度情報化や少子化・高齢化の進展、外国からの旅行者や労働者の流入などにより、異文化への理解や、新しい環境を受け入れる意識が必要とされる。そのために、多様な自然と人間の相互関係や、その文化に注目することは重要な意義となり、その資質・能力を育成することを目指していく。</p> <p>(1)グローバル化や情報化、少子高齢化など、急激な社会の変化を地理的な視点で捉えながら、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を身に付ける。(2)現代世界における地理的認識を深めながら、地理的技能や地理的見方・考え方を習得する。(3)主体的に社会の形成に参画する態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:地理探究(二宮書店)、新詳高等地図(帝国書院)</p> <p>副教材:ウイニングコンパス地理の整理と演習(東京法令出版)、新編地理資料 2023(東京法令出版)、2023 データブック・オブ・ザ・ワールド Vol35(二宮書店)、サクシード地理(啓隆社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国及び世界の生活・文化の地域的特色や防災、地域的・地球的課題への取組などに関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	現代世界の地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っているか。	現代世界の地理的諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしているか。
評価点	200	200	200

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	第I編 現代世界の系統地理的考察 第2章 資源と産業 第3章 人・モノ・金のつながり 第4章 人口、村落・都市 第5章 文化と国家 第II編 現代世界の地誌的考察 第1章 地域区分 第2章 現代世界の諸地域	考査・小テスト	考査・小テスト	学習態度 授業プリント提出 作業プリント提出
	評価点	100	100	100
2 セメ	第III編 現代世界におけるこれからの日本の国土像	考査・小テスト	考査・小テスト	学習態度 授業プリント提出 作業プリント提出

	評価点	100	100	100
--	-----	-----	-----	-----

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	第2章 資源と産業 ②資源・エネルギー ③工業	80
	5	④第3次産業 第I編 現代世界の系統地理的考察 第4章 人口、村落・都市	
	6	①人口 ②村落・都市 第5章 文化と国家 ①生活・文化と言語・宗教	
	7	②国家とその領域 第II編 現代世界の地誌的考察 第1章 地域区分 第2章 現代世界の諸地域 ①中国 ②朝鮮半島	
	8	③東南アジア	
	9	④南アジア ⑤西アジア・中央アジア ⑥北アフリカ・サブサハラアフリカ ⑦ヨーロッパ ⑧ロシア	
	10	⑥北アフリカ・サブサハラアフリカ ⑦ヨーロッパ ⑧ロシア	
	11	⑨アングロアメリカ ⑩ラテンアメリカ ⑪オーストラリア	
	12 1	⑫ニュージーランドと島嶼国 第III編 現代世界におけるこれからの日本の国土像 総復習演習	
2セメ		40	

5 その他

【年間の学習状況の評価方法】1セメスタから2セメスタまでの評価を総合し、年間の評価とする。

【シラバスについて】シラバスは予定であり、大きな変更を伴うことがある。

【授業プリントの評価について】考查ごとの提出を求めます。プリントの整理については、板書事項だけではなく、その他説明など、より丁寧に記録することを求めます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	日本史探究	単位数	4
		学年等	6年文系 日本史選択者

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	教科書 「詳説日本史」 山川出版社 副教材 「新詳日本史」 浜島書店 副教材 「日本史 重要語句 CheckList」 啓隆社

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価点	200	200	200

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ スタ	[第Ⅱ部 中世] 第5章 院政と武士の躍進 第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長 第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺 [第Ⅲ部 中世] 第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・討論、要約、発表等	・単元シート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
	評価点	100	100	100
2 セメ スタ	第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・討論、要約、発表等	・単元シート ・授業中の行動観察 ・ワークシート

	第18章 激動する世界と日本			
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ スタ	4	[第Ⅱ部 中世]	
		第5章 院政と武士の躍進	3
		1 院政の始まり	
		2 院政と平氏政権	
	5	第6章 武家政権の成立	6
		1 鎌倉幕府の成立	
		2 武士の社会	
		3 モンゴル襲来と幕府の衰退	
	5	第7章 武家社会の成長	8
		1 室町幕府の成立	
		2 幕府の衰退と庶民の台頭	
		3 室町文化	
6	第8章 近世の幕開け	3	
	1 織豊政権		
	2 桃山文化		
	第9章 幕藩体制の成立と展開	11	
6	1 幕藩体制の成立		
	2 幕藩社会の構造		
	3 幕政の安定		
	4 経済の発展		
7	5 元禄文化		
	第10章 幕藩体制の動揺	8	
	1 幕政の改革		
	2 宝暦・天明期の文化		
7	3 幕府の衰退と近代への道		
	4 化政文化		
7	[第Ⅲ部 中世]		
	第11章 近世から近代へ	3	
7	1 開国と幕末の動乱		
	2 幕府の滅亡と新政府の発足		
7	第12章 近代国家の成立	5	
	1 明治維新と富国強兵		
		2 立憲国家の成立	

2 セメ スタ	8	第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制 第2回考査 単元シートを評価	6
		第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 3 市民生活の変容と大衆文化	6
	9	第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦	7
		第16章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講話	4
	10	第17章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度経済成長へ	4
		第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の変容 第3回考査 単元シートを評価	3
	11	入試に向けた問題演習を適宜実施	

5 その他

【課題・提出物など】

◎単元シートの提出

◎副教材や授業プリントの提出

【各考査成績の評価方法】

①活動の取り組み状況の観察(思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度)

②上記課題等の提出(知識・技能, 思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度)

③小テスト, 第1回～第4回考査, 評価問題など(知識・技能, 思考・判断・表現)

年間指導計画表(シラバス)

科目名	倫理	単位数	4
		学年等	6年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>《「知識及び技能」に関わる目標》 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>《「思考力、判断力、表現力等」に関わる目標》 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。</p> <p>《「学びに向かう力、人間性等」に関わる目標》 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>使用教科書:高等学校 倫理(東京書籍)</p> <p>使用問題集:高等学校 要点マスター 倫理 整理と演習(東京書籍)</p> <p>副教材:テオリア 最新倫理資料集(第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>○青年期における自己形成や人間としての在り方生き方、現代の倫理的課題などに関した基本的な事柄を他者と共に生きる自己の確立の課題として理解している。さらに、自己の人格形成や課題解決のために生かす知識を身に付けている。</p>	<p>○他者と共に生きる自己の確立について広く課題を発見し、人間の存在や価値、現代の倫理課題などについて多面的・多角的に探究しようとしている。</p> <p>○良識ある公民としての広い視野に立つことで、主体的かつ公正な判断をしている。</p> <p>○課題についての考察や判断の過程や結果を、様々な方法で論理的に表現している。また、それについての確に反省し、自己評価することができる。</p>	<p>○人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を高めており、人格形成や自己形成の確立に努める実践的意欲を持っている。</p> <p>○倫理的な諸課題についての探究的な態度を身に付け、人間としての在り方生き方への自覚を深めようとしている。</p>
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セ メ	<p>第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方</p> <p>第1章 人間の心のあり方</p> <p>第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 I</p> <p>第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・授業中の行動観察</p> <p>・授業感想文</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・授業中の行動観察</p> <p>・授業感想文</p>	<p>・学習課題等</p> <p>・授業感想文</p>

	I			
	評価点	200点	200点	200点
2 セ メ	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	・定期考査等 ・授業中の行動観察	・定期考査等 ・授業中の行動観察	・学習課題等 ・授業感想文
	第2編 現代の諸課題と倫理	・授業感想文	・授業感想文	
メ	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セ メ	4	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 第1章 人間の心のあり方 1節 人間とは何か 2節 人間の心の働き	10
	5	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ 1節 哲学すること 2節 ギリシャの思想 3節 宗教と社会 4節 キリスト教 5節 イスラーム 6節 仏教 7節 中国の思想 8節 芸術 第1回考査	20
	6	第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	15
	7	1節 近代と人間尊重の精神 2節 近代思想の転換	15
	8	3節 人格の尊厳と人倫の思想 4節 社会変革の思想 5節 理性への疑念	5
	9	6節 人間観・言語問の問いなおし 7節 他者・自然とのかかわり 第2回考査	15
	10	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1節 日本人の精神風土 2節 仏教と日本人の思想形成 3節 儒教と日本人の思想形成	15
	11	4節 国学の思想 5節 庶民の思想 6節 西洋思想と日本人の近代化 7節 国際社会に生きる日本人の自覚 第3回考査	20
	12	第2編 現代の諸課題と倫理	15
2 セ メ	1	1節 生命 2節 自然 3節 科学技術 4節 福祉 5節 文化と宗教 6節 戦争と平和	5

5 その他

- 大学入学共通テストに対応できるよう基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得したうえで、探究的な活動も行います。
- 学習課題や授業感想文の提出について、Google Classroom を活用して行うことがあります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	政治・経済	単位数	4
		学年等	6年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。</p> <p>国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。</p> <p>よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>使用教科書:政治・経済(東京書籍)</p> <p>使用問題集:要点マスター 政治・経済 整理と演習(東京書籍)</p> <p>副教材:最新政治・経済資料集(第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	○現代の政治、経済、社会、国際関係にかかわる基本的な事項や課題について体系的、総合的に理解し、その知識を身につけているか。	○現代の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる諸課題を考察し、それらの本質や特質、さらには望ましい解決のあり方について広い視野に立って多面的、多角的に考察しているか。 ○社会の変化やさまざまな立場、考え方があることを理解した上で公正に判断しているか。 ○課題についての考察や判断の過程や結果をさまざまな方法を駆使して適切に表現しているか。	○現代の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題重要な課題にかかわる事柄に関する諸資料をさまざまなメディアから収集し、有用な情報を適切に選択・活用することができるか。 ○得られた資料や情報を効果的に活用し、社会の諸問題を探究する学び方を身につけているか。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セ メ	第1編 現代日本の政治と経済	・定期考査等	・定期考査等	・学習課題等
	第5章 現代日本の政治	・授業中の行動観察	・授業中の行動観察	・授業感想文
	第6章 現代日本の経済	・授業感想文	・授業感想文	
	第7章 現代日本の諸課題			
	評価点	200点	200点	200点
	第8章 現代日本の諸課題	・定期考査等	・定期考査等	・学習課題等

2 セ メ	第2編 グローバル化する国際社会	・授業中の行動観察	・授業中の行動観察	・授業感想文
	第1章 現代の国際政治 第2章 現代の国際経済 第3章 国際社会の諸課題	・授業感想文	・授業感想文	
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セ メ	4	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原則 2節 日本国憲法の基本原則	10
	5	3節 日本の政治機構 第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ 第1回考査	20
	6	3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題	15
	7		15
	8		5
	9	第3章 現代日本の諸課題 第2回考査	15
	10	第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治	15
	11	第2章 現代の国際経済 第3回考査	20
	12 1	第3章 国際社会の諸課題	15 5

5 その他

- 大学入学共通テストに対応できるよう基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得したうえで、探究的な活動も行います。
- 学習課題や授業感想文の提出について、Google Classroom を活用して行うことがあります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	世界史探究	単位数	4
		学年等	6年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>① 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。</p> <p>② 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>③ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>使用教科書：山川出版社『詳説世界史探究』</p> <p>副教材等：帝国書院『最新世界史図説タペストリー』</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>○ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。</p> <p>○ 諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。</p>	<p>○ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。</p> <p>○ 考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。</p>	<p>○ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>○ 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。</p>
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	序章——世界史へのまなざし 第1編 諸地域の歴史的特質 第2編 諸地域の交流と再編 第7章～第12章	○ 定期考査 ○ 小テスト ○ 学習プリント	○ 定期考査 ○ 小テスト ○ 学習プリント	○ 学習課題等 ○ 学習プリント
	評価点	200	200	200
2 セメ	第2編 諸地域の交流と再編 第13章 第3編 一体化していく世界 第4編 グローバル化と地球的課題	○ 定期考査 ○ 小テスト ○ 学習プリント	○ 定期考査 ○ 小テスト ○ 学習プリント	○ 学習課題等 ○ 学習プリント
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ	4	序章——世界史へのまなざし	2
		第1編 諸地域の歴史的特質 第1章 古代文明の出現 第2章 西アジアと地中海周辺 第3章 南アジア 第4章 東南アジア 第5章 東アジアと中央ユーラシア 第6章 アフリカ, オセアニア, 古アメリカ	28
	5	第2編 諸地域の交流と再編 第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄	5
	第1回考査	1
	6	第8章 中世ヨーロッパ 第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国 第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア 第11章 大交易時代と世界の一体化 第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄	30
	第2回考査	1

2 セメ	9	第 13 章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	10
		第3編 一体化していく世界	31
		第 14 章 国民国家と近代社会の形成	
		第 15 章 世界市場の形成とアジア諸国の変容	
	10	第 16 章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	
	第 3 回考査	1
	11	第 17 章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容	18
		第 18 章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	
		第 19 章 第二次世界大戦と戦後の東アジア	
	12	第4編 グローバル化と地球的課題	13
	第 20 章 冷戦の世界化と国際制度		
	第 21 章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化		
1	第 22 章 21 世紀の地球的課題と人類社会		
	2		
	3		

5 その他

- 学習にあたっては、教科書の記述内容の理解を中心に、適宜資料集を参照してください。
- 授業に関する連絡や、学習課題の提示に Google Classroom を用いることもあります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学演習 I	単位数	5
		学年等	6年生文科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	(1) 数学 I・数学 II・数学 A・数学 B・数学 C で深めた数学的な見方・考え方を働かせる。 (2) 数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を基に、考察を伴う問題演習や数学的に考える (3) 論理的で批判的な考え方やそれらの表現力をさらに発展させる。
使用教科書 副教材等	新教育課程に対応した教材が未販売のため不明

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて 考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価点	100	100	100

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1セメ	数と式・図形と計量・二次関数・データの分析・図形の性質・場合の数と確率・数学と人間の活動	・定期考査等	・定期考査等 LISI ゼミの 記述分析	・学習課題等 ・PDCA シートの記述分析 ・授業中の行動観察
		200	200	200
2セメ	いろいろな式・図形と方程式・指数関数・対数関数・三角関数・微分・積分の考え・数列・ベクトル	・定期考査等	・定期考査等 LISI ゼミの 記述分析	・学習課題等 ・PDCA シートの記述分析 ・授業中の行動観察
		200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	数学 I の発展的学習	55
	5		
	6 第1回考査	
	7	数学 A の発展的学習	36
	8	LISI ゼミ1	
9 第2回考査		
2セメ	10	数学 II・B の発展的学習	35
	11		
	12 第3回考査	
	1	数学 C の発展的学習	49

5 その他

- 詳細や変更点などは別途配布する「対応表」で確認すること。
- セメスターごとに探究学習(LISI ゼミ)を行います。
- ICT の活用も一部で行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅲ・数学 C	単位数	数学Ⅲ(2)・数学 C(1)
		学年等	6 年理系

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>数学Ⅲ</p> <p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1)極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統一的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3)数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>数学 C</p> <p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1)ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>使用教科書:数学Ⅲ・数学 C (数研出版)</p> <p>傍用問題集:サクシード数学Ⅲ+C(数研出版)</p> <p>副教材:チャート式 基礎からの数学Ⅲ+C(数研出版)</p> <p>チョイス新標準問題集 数学Ⅲ 六訂版(河合出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>・学習内容についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>・事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。</p>	<p>・学習内容に関して論理的に考察する力, 構成要素間の関係に着目し, 方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり, 図形の性質を論理的に考察したりする力, 関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力, 関数の局所的な変化に着目し, 事象を数学的に考察したり, 問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。</p> <p>・図形の構成要素間の関係などに着目し, 図形の性質を見だし, 論理的に考察する力, 不確実な事象に着目し, 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力, 数学と人間の活動との関わりに着目し, 事象に数学の構造を見だし, 数理的に考察する力を身に付けている。</p>	<p>・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p> <p>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとしている。</p>
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	数学Ⅲ 微分法の応用 数学Ⅲ 積分法・積分法の応用 (1セメ後半は数ⅢC 全範囲)	・定期考査等	・定期考査等 レポートなど	・学習課題等 ・PDCA シートの記述分析
		200	200	200
2セ メ	数学ⅢC 全範囲	・定期考査等	・定期考査等 レポートなど	・学習課題等 ・PDCA シートの記述分析
		200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	数学Ⅲ微分法の応用	5
	5	数学Ⅲ積分法・積分法の応用	15
	6 第1回考査	10
	7	数学Ⅲ・C 入試演習 (関数・極限・複素数平面・いろいろな曲線)	10
	8		11
	9 第2回考査	10
2セメ	10	数学Ⅲ・C 入試演習 (微分法・微分法の応用・積分法・積分法の応用)	10
	11 第3回考査	10
	12		10
	1		
	2		
	3		

5 その他

- 詳細や変更点などは別途配布する「対応表」で確認すること。
- セメスターごとに探究的な活動を行います。
- ICT の活用もを行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学演習Ⅱ・数学C	単位数	数学演習Ⅱ(2)、数学C(1)
		学年等	6年生理科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1)数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学Cで深めた数学的な見方・考え方を働かせ、目的意識をもって事象を数学化する。</p> <p>(2)自ら問題を設定し、その解決のために新しい概念や原理・法則を見いだしたり学んだりすることで、概念や原理・法則に支えられた知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりする。</p> <p>(3)統合的・発展的、体系的に考えて深い学びを実現したりする数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。</p>
使用教科書 副教材等	新教育課程に対応した教材が未販売のため不明

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 	<p>数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価点	100	100	100

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1セメ	数と式・図形と計量・二次関数・データの分析・図形の性質・場合の数と確率・数学と人間の活動	・定期考査等	・定期考査等 LISIゼミの 記述分析	・学習課題等 ・PDCAシートの記述分析 ・授業中の行動観察
		200	200	200

2セメ	いろいろな式・図形と方程式・指数関数・対数関数・三角関数・微分・積分の考え・数列・ベクトル	・定期考査等	・定期考査等 LISIゼミの 記述分析	・学習課題等 ・PDCAシートの記述分析 ・授業中の行動観察
		200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	数学 I に関する数学的活動	25
	5		
	6 第1回考査	
	7	数学 A に関する数学的活動	25
	8	LISIゼミ1	
	9 第2回考査	
2セメ	10	数学 II・B に関する数学的活動	25
	11		
	12 第3回考査	
	1	数学 C に関する数学的活動	15

5 その他

- 詳細や変更点などは別途配布する「対応表」で確認すること。
- セメスターごとに探究学習(LISIゼミ)を行います。
- ICTの活用も一部で行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学研究	単位数	3
		学年等	6年生理科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	(1)数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学Cで深めた数学的な見方・考え方を働かせる。 (2)数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を基に、考察を伴う問題演習や数学的に考えることを行う (3)論理的で批判的な考え方やそれらの表現力をさらに発展させる。
使用教科書 副教材等	新教育課程に対応した教材が未販売のため不明

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価点	100	100	100

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1セメ	数と式・図形と計量・二次関数・データの分析・図形の性質・場合の数と確率・数学と人間の活動	・定期考査等	・定期考査等 LISIゼミの記述分析	・学習課題等 ・PDCAシートの記述分析 ・授業中の行動観察
		200	200	200
2セメ	いろいろな式・図形と方程式・指数関数・対数関数・三角関数・微分・積分の考え・数列・ベクトル	・定期考査等	・定期考査等 LISIゼミの記述分析	・学習課題等 ・PDCAシートの記述分析・授業中の行動観察
		200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	数学 I の発展的学習	40
	5		
	6 第1回考査	
	7	数学 A の発展的学習	20
	8	LISI ゼミ1	
	9 第2回考査	
2セメ	10	数学 II・B の発展的学習	25
	11		
	12 第3回考査	
	1	数学 C の発展的学習	20

5 その他

- 詳細や変更点などは別途配布する「対応表」で確認すること。
- セメスターごとに探究学習(LISI ゼミ)を行います。
- ICT の活用も一部で行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	物理	単位数	4
		学年等	6

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>物体の運動、電磁気学の様々な物理現象を、さまざまな物理量、図法を用いて解析し、自然を物理法則と物理的な手法により理解することを目指し、以下の資質・能力を育成する。</p> <p>(1)単振動、万有引力による運動を運動の法則などを用いて理解する。直流回路、コンデンサー、電磁誘導、交流回路を電場と磁場の概念をもとに理解する。原子については「物理学が築く未来」の内容も含めて知識を深める。</p> <p>(2)物理法則を学び、図を描いて物理量の関係を把握し、数式による方程式を立式して解を求めることができる。</p> <p>(3)物理現象を観察し、実験を企画することで、物事を科学的に探究する資質・能力を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 「高等学校 物理」第一学習社</p> <p>副教材 「セミナー物理基礎+物理」第一学習社 物理重要問題集 物理チェックアンド演習</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>事物、現象について基本的な概念や原理・法則を理解し、それを知識として身につけているか。テストでは知識、概念の理解、及び実験技能の習得状況について評価するための問題を出題する。</p>	<p>文章、図表から物理的状況を把握し、物理法則から方程式を導き、解を求めてその物理的な解釈ができるか。思考をすすめるために適切な図が描けるか。物理的な問題を解決し、正しく表現できるか。これらを、テストによって評価する。</p>	<p>物理現象に対する関心、理解しようとする意欲が、実験・観察の力に現れると考え、実験レポートにより評価する。学習態度については、テスト類への取り組み状況で評価する。演習ノート等の作成状況、物理レポートなど提出物の状況を、主体的に学習に取り組んでいるかの評価に利用する。</p>
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ スタ	<p>〔第Ⅰ章 運動とエネルギー〕 単振動</p> <p>〔第Ⅲ章 電気と磁気〕</p> <p>第1節 電場と電位 第2節 電流</p> <p>〔第Ⅰ章〕 第5節 気体の性質と分子の運動</p> <p>第3節 電流と磁場</p>	<p>考查・課題テスト</p> <p>小テスト</p>	<p>考查・課題テスト</p> <p>小テスト</p>	<p>学習態度</p> <p>演習ノート</p> <p>実験プリント</p> <p>物理レポート</p>
	評価点	200	200	200
2 セメ スタ	<p>第4節 電磁誘導と交流</p> <p>〔第Ⅳ章 原子〕</p> <p>第1節 電子と光</p> <p>第2節 原子と原子核</p> <p>終章 物理学が築く未来</p>	<p>考查・課題テスト</p> <p>小テスト</p>	<p>考查・課題テスト</p> <p>小テスト</p>	<p>学習態度</p> <p>演習ノート</p> <p>実験プリント</p> <p>物理レポート</p>
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ スタ	4	〔第Ⅰ章 運動とエネルギー〕 単振動 実験を観察し、物理レポートを提出して評価	70
	5	〔第Ⅲ章 電気と磁気〕 第2節 電流	
	6	第1回考査 単振動 電流について出題 演習ノートの評価 第1節 電場と電位	
	7	〔第Ⅰ章〕第5節 気体の性質と分子の運動	
	8	第2節 電流と磁場 第4節 電磁誘導と交流	
	9	電磁誘導についての実験をし、実験レポートを提出して評価 第2回考査 磁場、電磁誘導について出題 演習ノートの評価	
2 セメ スタ	10	〔第Ⅳ章 原子〕	70
	11	第1節 電子と光 第2節 原子と原子核	
	12	第3回考査 交流回路と原子について出題 演習ノート評価 終章 物理学が築く未来	
	1	物理問題演習	
	2		
	3		

5 その他

- ・授業では物理量の定義、法則を理解して典型的な物理系を理解することに多くの時間を配分する。
- ・生徒間で協働する場面を多数設定するので、積極的に活動し、新しい学力を身に付けること。
- ・生徒実験や、演示実験を観察した際に実験プリントの作成、物理レポートを課す。
- ・小テスト、課題テスト、考査の成績をもとに、粘り強く計画的に学習する力を評価する。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学基礎演習	単位数	2
		学年等	6

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 5学年次に学んだ化学基礎の学習内容を発展的内容に触れながら、さらに知識を深化させる。</p> <p>(2) 物質の構造と反応を理解し、化学的な事物や現象に関する探究活動を実践することにより、化学的な見方、および考え方を養うとともに、科学の発展・科学技術の進歩を体系的に捉え、日常生活とのかかわりについて理解を深める。</p> <p>(3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:化学基礎 (数研出版)</p> <p>問題集:バストフィット化学基礎 4rd Edition(実教出版)</p> <p>大学入学共通テスト対策問題集化学基礎(実教出版)</p> <p>ケミ探究+(啓林館) ※教科書、副教材とも予定</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>物質やその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</p> <p>また、物質やその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。</p>	<p>物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</p>	<p>日常生活や社会との関連を図りながら物質やその変化について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。</p>
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	<p>化学と人間生活の復習 I</p> <p>物質と構成復習 I</p> <p>物質の変化とその利用復習 I</p>	<p>定期考査</p> <p>課題テスト</p> <p>授業プリント</p>	<p>定期考査</p> <p>課題テスト</p> <p>授業プリント</p>	<p>授業プリント</p> <p>演習ノート</p>
	評価点	200	200	200
2 セメ	<p>化学と人間生活の復習 II</p> <p>物質と構成復習 II</p> <p>物質の変化とその利用復習 II</p> <p>化学基礎総復習</p>	<p>定期考査</p> <p>課題テスト</p> <p>授業プリント</p>	<p>定期考査</p> <p>課題テスト</p> <p>授業プリント</p>	<p>授業プリント</p> <p>演習ノート</p>

	評価点	200	200	200
--	-----	-----	-----	-----

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時
1セメ 前半	4	化学と人間生活 復習 I 化学と物質 物質の分離・精製	15
	5	単体と化合物 熱運動と物質の三態	
	6	物質の構成復習 I 物質の構成粒子 物質と化学結合	
1セメ 後半	6	物質の変化とその利用 復習 I	20
	7	物質量と化学反応式	
	8	酸・塩基	
	9	酸化還元反応	
2セメ 前半	9	化学と人間生活 復習 II 化学と物質 物質の分離・精製 単体と化合物 熱運動と物質の三態	20
	10	物質の構 復習 II 物質の構成粒子	
	11	物質と化学結合 物質の変化とその利用 復習 II 物質量と化学反応式 酸・塩基 酸化還元反応	
2セメ 後半	11	化学基礎総復習	15
	12		
	1		
	2		
	3		

5 その他

--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学	単位数	5
		学年等	6年生理科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	物質の構造と反応を理解し、化学的な事物や現象に関する探究活動を実践することにより、化学的な見方、および考え方を養うとともに、科学の発展・科学技術の進歩を体系的に捉え、日常生活とのかわりについて理解を深める。
使用教科書 副教材等	教科書:化学新訂版(数研出版) 問題集:センサー総合化学(啓林館, 継続使用) 国公立標準問題集改訂版 CanPass 化学基礎+化学 大学入学共通テスト化学単元別問題集 (駿台文庫) 資料集:フォトサイエンス化学図録(数研出版, 継続使用)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	物質やその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。また、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物質やその変化について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身につけている。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ スタ	第4編 第1章 有機化合物の分類と分析 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 アルコールと関連化合物 第4章 芳香族化合物	考查・課題テスト 小テスト 実験プリント	考查・課題テスト 小テスト 実験プリント	学習態度 演習ノート レポート 提出物
	第5編 第1章 天然有機化合物 第2章 天然高分子化合物			
	第6編 第1章 高分子化合物の性質 第2章 合成高分子化合物			
	評価点	200	200	200

2 セメ スタ	化学の総復習(Ⅰ)	考查・課題テスト 小テスト 実験プリント	考查・課題テスト 小テスト 実験プリント	学習態度 演習ノート レポート 提出物
	化学の総復習(Ⅱ)			
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	第4編	
		第1章 有機化合物の分類と分析	5
	5	第2章 脂肪族炭化水素	10
		第3章 アルコールと関連化合物	15
	6	第4章 芳香族化合物	10
	 第1回考查	
		第5編	
	7	第1章 天然有機化合物	5
		第2章 天然高分子化合物	10
	8	第6編	
9	第1章 高分子化合物の性質	20	
	第2章 合成高分子化合物	5	
	 第2回考查	
2セメ	10	化学の総復習	40
	11		
	 第3回考查	
	12	化学の総復習	35
	1		
	 第4回考查	
	2		
	3		

5 その他

--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物基礎演習Ⅱ	単位数	2
		学年等	6年生文科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 生物基礎演習Ⅰで深めた知識・技能・探究する力、自己の考えを表現する力を基に、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけけるようにする。</p> <p>(2) 考察を伴う問題演習や観察・実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な論理的で批判的な考え方やそれらの表現力をさらに発展させる。</p> <p>(3) 生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：高等学校 生物基礎(第一学習社)(継続使用)</p> <p>問題集：2023 セミナー生物基礎(第一学習社)(継続使用)</p> <p>進研 WINSTEP 生物基礎(ラーズ)(継続使用)</p> <p>2025 共通テスト対策【実力完成】直前演習 生物基礎(使用予定)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生命現象について理解したか。 生物学的に探究するために必要な、観察・実験などに関する基本的な技能を身につけたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察・実験などを行うために、情報収集・仮説の設定・実験の計画などを行う力を身につけたか。 実験結果の分析・解釈・推論など探究の方法を習得したか。 考察問題の解説の作成や発表を通して、論理的で批判的な考え方に基づいた考えを表現できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 生物や生命現象に対して、主体的に関わり、そこから生じる課題を解決しようとする態度などを養えたか。 生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度などを養えたか。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1セメ	<p>【第1編】生物の特徴</p> <p>第1章 生物の特徴</p> <p>第2章 遺伝子とその働き</p> <p>【第2編】ヒトのからだの調節</p> <p>第3章 ヒトのからだの調節</p>	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 課題テスト 課題等の提出物 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 課題テスト レポート等の提出物 	<ul style="list-style-type: none"> 各種テストへの取組姿勢・振り返り 学習活動全般
	評価点	200	200	200

2セメ	【第2編】ヒトのからだの調節 第3章 ヒトのからだの調節 【第3編】生物の多様性と生態系 第4章 植生と遷移 第5章 生態系とその保全	・定期考査 ・課題等の提出物	・定期考査 ・レポート等の提出物	・各種テストへの取組姿勢・振り返り ・学習活動全般
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ 前半	4	第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性 ・生物は多様でありながら共通性をもっていることを、見出して理解する。	20
	5	第2節 生物とエネルギー ・生命活動にエネルギーが必要であることを、代謝とATPを関連付けて理解する。	
	6	第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝子の本体とその構造 ・遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を、見出して理解する。	
		第2節 遺伝情報とタンパク質 ・DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列の関係を、見出して理解する。 ○ 第1回考査	
1セメ 後半	6	第3章 ヒトのからだの調節 第1節 情報の伝達と体内環境の維持	20
	7	・実験などを通して、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを、見出して理解する。	
	8	第2節 免疫	
	9	・資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを、見出して理解する。 ○ 第2回考査	
2セメ 前半	10	第4章 植生と遷移 第1節 植生と遷移 ・資料に基づいて、遷移の要因を見出して理解する。	14
	11	第2節 バイオーム ・植生の遷移を、バイオームと関連付けて理解する。 ○ 第3回考査	
2セメ 後半	11	第5章 生態系とその保全 第1節 生態系と生物の多様性	16
	12	・生物の種多様性と生物間の関係性とを、関連付けて理解する。	
	1	第2節 生態系のバランスとその保全 ・資料に基づいて、生態系のバランスと人為かく乱とを、関連付けて理解する。	

5 その他

【年間の学習状況の評価方法】

1セメスタから2セメスタまでの評価を総合し、年間の評価とする。

【シラバスについて】

シラバスは予定であり、5年時の生物の進捗や授業の内容の理解度により進捗を変更することがある。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物	単位数	4
		学年等	6

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 「高等学校 生物」第一学習社(継続使用)</p> <p>副教材 「2024 新課程 セミナー生物」第一学習社(継続使用)</p> <p>資料集 「新課程版スクエア最新図説生物」(第一学習社)(継続使用)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>自然や生物や生命現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</p> <p>観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。</p>	<p>自然や生物や生命現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</p>	<p>自然や生物や生命現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。また、考査への取り組み、ノート等の作成、レポートや振り返り、提出物などを通じて、自己の課題を認識し、改善するための手立てを講じている。</p>
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ スタ	<p>[第6章 遺伝子に発現調節と発生]</p> <p>第1節 遺伝子の発現調節</p> <p>第2節 発生と遺伝子の発現</p> <p>[第7章 遺伝子を扱う技術とその応用]</p> <p>第1節 遺伝子を扱う技術</p> <p>第2節 遺伝子を扱う技術の応用</p> <p>[第8章 動物の反応と行動]</p> <p>第1節 刺激の受容と反応</p> <p>第2節 動物の行動</p> <p>[第9章 植物の成長と環境応答]</p> <p>第1節 植物と環境</p>	考査・課題テスト	考査・課題テスト	<p>学習態度</p> <p>授業・実験プリント</p> <p>振り返りプリント</p>
	評価点	200	200	200

2 セメ スタ	〔第9章 植物の成長と環境応答〕 第2節 植物の一生と植物ホルモン 〔第10章 生態系のしくみと人間の関わり〕 第1節 個体群と生物群集 第2節 生態系の物質生産と消費 第3節 生態系と人間生活	考查・課題テスト 実験プリント	考查・課題テスト 実験プリント	学習態度 授業・実験プリント 振り返りプリント
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ スタ	4	〔第6章 遺伝子に発現調節と発生〕 第1節 遺伝子の発現調節 ①遺伝子の発現調節	80
	5	第2節 発生と遺伝子の発現 ①動物の配偶子形成と受精 ②ショウジョウバエの発生における遺伝子 ③カエルの発生における遺伝子の発現 ④発生過程にみられる多様性と共通性 第1回考查 生命の起源と細胞の進化について出題 第1回考查, 授業プリント, 振り返りプリントを評価	
	6	〔第7章 遺伝子を扱う技術とその応用〕 第1節 遺伝子を扱う技術 ①遺伝子の単離と増幅 ②遺伝子の構造や発現を解析する方法 ③遺伝子の機能を解析する方法 第2節 遺伝子を扱う技術の応用 ①人間生活への応用 ②遺伝書を扱う際の課題 第2回考查 生物の系統と進化について出題 第2回考查, 授業プリント, 振り返りプリントを評価	
	7	〔第8章 動物の反応と行動〕 第1節 刺激の受容と反応 ①刺激の受容と反応 ②神経系とニューロン ③ニューロンによる電気的な信号の生成とそれを伝えるしくみ 第2節 動物の行動 ①動物の行動 ②生得的行動 ③習得的行動と学習	
	8		
	9	〔第9章 植物の成長と環境応答〕 第1節 植物と環境 ①植物の刺激の受容と情報の伝達	

2 セメ スタ	10	<p>第2節 植物の一生と植物ホルモン</p> <p>① 被子植物の受精と胚発生</p> <p>② 種子の発芽と光環境</p> <p>③ 植物の環境応答と成長</p> <p>④ 花芽形成と花の形成</p> <p>⑤ 果実の成長と成熟, 落葉・落果</p> <p>〔第10章 生態系のしくみと人間の関わり〕</p>	60
	11	<p>第1節 個体群と生物群集</p> <p>① 個体群とその特徴</p> <p>② 個体群の変動と維持</p> <p>③ 個体群内の相互作用</p> <p>④ 個体群間の相互作用</p> <p>⑤ 多様な種が共存するしくみ</p>	
	12	<p>第2節 生態系の物質生産と消費</p> <p>① 物質生産</p> <p>② 物質とエネルギーの移動</p>	
	1	<p>第3節 生態系と人間生活</p> <p>① 生態系と生物多様性</p> <p>② 人間活動と生態系の変化</p> <p>③ 生物多様性の保全とその意義</p> <p>第3回考査 細胞と分子について出題</p> <p>第3回考査, 実験レポート, 授業プリント, 振り返りプリントを評価</p> <p>総復習演習</p>	

5 その他

【年間の学習状況の評価方法】

1セメスタから2セメスタまでの評価を総合し, 年間の評価とする。

【シラバスについて】

シラバスは予定であり, 5年時の生物の進度や授業の内容の理解度により進度を変更することがある。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術課題研究(音楽)	単位数	3
		学年等	6年・文科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 音楽の諸活動を通して、客観性と多様性について理解を深めるとともに、知識や技能を身につけるようにする。</p> <p>(2) 音楽の諸活動を通して、豊かな表現やその効果などに関する思考力、判断力、表現力等を育成する。</p> <p>(3) 生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高めようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	教科作成資料等

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていこうとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	〔ソルフェージュ〕 視唱、聴音 〔歌唱〕 コンコーネ 〔音楽理論〕 楽典、音楽史① 〔鑑賞〕 さまざまな協奏曲	実技テスト(発表) 実践テスト	実技テスト(発表) ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	100点	100点	100点
2 セメ	〔ソルフェージュ〕 視唱、聴音 〔器楽〕 〔創作〕 弾き歌い 〔音楽理論〕 楽典、音楽史② 〔鑑賞〕 20世紀以降の音楽	実技テスト(発表) 実践テスト	実技テスト(発表) ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ	4	〔ソルフェージュ〕 視唱(新曲視唱含む)、聴音 ・音楽を形作る要素を正確に捉えるための技能を養う。	25
	5	〔歌唱〕 コンコーネ ・正しい音程感覚、適切な表現方法を身につけて、表現意図をもって創造的に歌う。	
	6	〔音楽理論〕 楽典、音楽史① ・基礎的な理論を理解し、表現と鑑賞に活用する能力を養う。	21
	7	・我が国及び諸外国の音楽の歴史について理解を深め、多様な音楽の文化的価値をとらえる能力を養う。	
	8	〔鑑賞〕 さまざまな協奏曲～ピアノ協奏曲、ヴァイオリン協奏曲、ギター協奏曲	6
9	・独奏楽器とオーケストラによるアンサンブルを味わう。自身のアンサンブル感覚を養う。 ・楽器の特性を生かした作品の魅力を知覚・感受する。		
2 セメ	10	〔ソルフェージュ〕 視唱(新曲視唱含む)、聴音 ・音楽を形作る要素を正確に捉えるための、より高度な技能を養う。	15
	11	〔器楽〕〔創作〕 弾き歌い ・将来的に教育現場に携わる際に必須である弾き歌いの技能を養う。	12
	12	・弾き歌いをする際に適切な伴奏形を創作して、実際に行う。 ・即興的に簡易な伴奏を付けて歌う、応用力を身につける。	
	1	〔音楽理論〕 楽典、音楽史② ・基礎的な理論を理解し、表現と鑑賞に活用する能力を養う。	20
	2	・我が国及び諸外国の音楽の歴史について理解を深め、多様な音楽の文化的価値をとらえる能力を養う。	
3	〔鑑賞〕 20世紀以降の音楽 ・音楽の特徴と文化的背景、歴史的背景、時代との関わりについて理解を深める。	6	

5 その他

ワークシートや実技発表、発表に向けての個人の取り組み状況と到達度を総合的に得点化します。
主に音楽関係の大学に進学を考えている人向けの、知識的にも技術的にもかなり専門的な内容(実技含む)になります。
音楽関係の大学に進学を考えている人、入試に音楽の実技がある人は早めに教科担当者に相談してください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術課題研究(美術)	単位数	3
		学年等	6年・文科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 美術の幅広い創造活動を通して、美術の意義や基礎的な理論についての知識を深め、表現する技能を身につける。</p> <p>(2) 表現及び鑑賞に関する思考力、判断力、表現力等を育成する。</p> <p>(3) 造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力・態度を育成する。</p>
使用教科書 副教材等	教科作成資料等

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	創造的な美術の幅広い表現をするために、造形的な視点についての知識や理解を深める。意図に応じて表現方法を創意工夫し、造形的に表す技能を身につけている。	感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫などについて考察している。主題を生成し創造的に発想し構想を練るなど価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることを探究している。	美術の幅広い創造活動や鑑賞の喜びを味わうとともに積極的に美術の創造活動に取り組もうとしている。また生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、関心を持ち、心豊かな生活や社会を創造していくことに取り組もうとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	素描 表現・鑑賞 絵画 表現・鑑賞 デザイン 表現・鑑賞	作品	アイディアスケッチ 作品	授業態度 作品 講評会
	評価点	100点	100点	100点
2 セメ	彫刻 表現・鑑賞 デザイン応用 表現・鑑賞 絵画 表現・鑑賞 映像メディア表現 鑑賞	作品	アイディアスケッチ 作品	授業態度 作品 講評会
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ	4	素描 表現 静物画…日常における身近な静物を描く。 鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	14
	5	絵画 表現 静物画…日常における身近な静物を描く。必要に応じて着彩の練習をする。 鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	10
	6		
	7	絵画 表現 アクリル画…金属や陶器など身近な無機物をアクリル絵の具で描く。	15
	8	鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	
9	デザイン 表現 瓶や木材などの平面構成を制作する。 鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	13	
2 セメ	10	彫刻 表現 紙粘土を素材とし動物をテーマとした造形表現を行い着彩をする。 鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	16
	11	デザイン応用 表現 イメージ構成を行う。 鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	16
	12	絵画…表現 自由な発想の油絵…静物や風景、空想画や抽象画など自由な発想の作品を制作する。	16
	1	鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	
	2	映像メディア表現 鑑賞 日本や世界のアニメーションの紹介や観賞…ICTを活用	5
3			

5 その他

各題材の取り組み状況と到達度および提出状況また講評会などを参考にし、それぞれ3つの観点を得点化し、総合的に評価する。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術課題研究(書道)	単位数	3
		学年等	6年・文科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	(1) 書道の幅広い活動を通して、書写に関する知識や技能を高める。 (2) 書のおさや美しさを感じ、創造的に構想し、個性豊かに表現を工夫する。 (3) 生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
使用教科書 副教材等	なし

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	客観的に作品に対して向き合えたか。 自分で考え、工夫した空間の処理方法や表現方法を評価する。	書く題材をもとに、よりよい作品を作るためにどのような表現を工夫すべきかを考え、筆遣い・墨継ぎ・かすれ・強調したいポイント等を押さえた上で書かれた作品を評価する。	授業道具の準備から作品制作に対する取り組み姿勢、さらに自分自身を見つめ直し、作品制作を通して変化した部分も評価する。
評価点	200	200	200

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	色紙 少字数作品 硬筆(実用書) 刻字作品	作品提出	作品提出	作品提出
	評価点	100	100	100
2 セメ	掛軸作品(臨書) 掛軸作品(創作) 漢字かな交じり作品 色紙作品	作品提出	作品提出	作品提出
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
----	---	----------	----

1 セメ 前半	4 5 6	制作方法を考える 文字構成を考える	22
1 セメ 後半	6 7 8 9	早書き 横書き 縦書き ハガキの書き方 ポスターの書き方 楷書と行書 草稿作成 刻す 仕上げ	30
2 セメ 前半	9 10 11	基となる古典の選択 筆遣い、空間処理の徹底 創作各品の制作	30
2 セメ 後半	11 12 1 2 3	裏打ち 掛軸の作成 空間意識した文字構成と文字配置 色紙制作	23

5 その他

作品制作が基本であるが、作成過程も自己研鑽のためには必要な要素である。
理論的な組み立てを行い、計画的に実行してもらいたい。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術専科研究(音楽)	単位数	4
		学年等	6年・文科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わり、客観性と多様性について理解を深めるとともに、知識や技能をさらに身につけるようにする。</p> <p>(2) 音楽の諸活動を通して、豊かな表現やその効果などに関する思考力、判断力、表現力等をさらに育成する。</p> <p>(3) 生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高めようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	教科作成資料等

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり、音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を活用し、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形作っている要素や、要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、意図をもった表現をしたり、多角的に作品の良さや美しさを理解して、味わって聴いたり評価したりしている。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていこうとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	〔歌唱〕 イタリア歌曲、ドイツ歌曲等	実技テスト(発表) 実践テスト	実技テスト(発表) ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	〔器楽〕 専門楽器、ピアノ演習			
	〔鑑賞〕 オペラ、ミュージカル			
	評価点	100点	100点	100点
2	〔歌唱〕 日本語歌曲等	実技テスト(発表)	実技テスト(発表)	行動観察

セメ	〔器楽〕 専門楽器、ピアノ 〔創作〕 コード進行と作曲	実践テスト	ワークシート記述	ワークシート記述
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ	4	〔歌唱〕 イタリア歌曲「Sebben, crudele」、「Caro mio ben」、ドイツ歌曲「Heidenröslein」	8
	5	・イタリア語、ドイツ語の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出させる表現上の効果を理解して歌う。 ・楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌う。	4
	6	〔器楽〕 専門楽器 ・演奏における客観性と多様性を理解し、音楽の様式を尊重して演奏する能力を養う。	28
	7	〔器楽〕 ピアノ演習「ハノン」、「ソナチネ」、「インベンション」 ・ピアノにおける両腕、指、体の使い方を理解して、表現の意図をもって演奏する能力を養う。	20
	8	〔鑑賞〕 オペラ「フィガロの結婚」、「カルメン」 ・音楽の構造上の特徴とうつくしさとのかわりを理解して鑑賞する。 ・声域に応じた表現方法を感じ取り味わう。	6
	9	〔鑑賞〕 ミュージカル「夢から醒めた夢」 ・作品を形づくる要素を知覚し、その働きを感受しながら、舞台芸術の魅力を味わう。	4
2 セメ	10	〔歌唱〕 日本歌曲「荒城の月」、「浜辺の歌」、「この道」 ・日本語の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出させる表現上の効果を理解して歌う。 ・楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌う。	10
	11	〔器楽〕 専門楽器 ・演奏における客観性と多様性を理解し、音楽の様式を尊重して演奏する能力を養う。	16
	12	・専門的な学習を通して、楽曲の表現内容を理解し、表現意図を明確にして創造的に表現する能力を養う。	14
	1	〔器楽〕 ピアノ演習「ハノン」、「ソナタ」、「ブルグミュラー」 ・ピアノにおける両腕、指、体の使い方を理解して、より高度な楽曲を演奏する能力を養う。	14
	2	・音楽様式に合った演奏法、効果的なペダリングを理解して演奏する能力を養う。	10
	3	〔創作〕 コード進行を意識した作曲、旋律に合ったコード付け(伴奏作曲) ・音楽理論の知識を用いて、個性豊かに音楽をつくる。 ・伴奏によって曲の印象が変わることの面白さを味わって、様々な伴奏形を創作する。	6

5 その他

自らが楽しむだけでなく、他者を音楽で楽しませるための様々なスキルを身に付けるための学習を行います。

ワークシートや実技発表、発表に向けての個人の取り組み状況と到達度を総合的に得点化します。

音楽を専攻する学校に進学したい人、小学校教諭・保育士など将来やりたい仕事のために音楽的スキルや表現力を必要とする人は履修してください。

音楽関係の大学に進学を考えている人、入試に音楽の実技がある人は早めに教科担当者に相談してください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術専科研究(美術)	単位数	4
		学年等	6年・文科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(4) 美術の幅広い創造活動を通して、美術の意義や基礎的な理論についての知識を深め、表現する技能をさらに身につける。</p> <p>(5) 表現及び鑑賞に関する思考力、判断力、表現力等を育成する。</p> <p>(3) 造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力・態度をさらに育成する。</p>
使用教科書 副教材等	教科作成資料等

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	創造的な美術の表現をするために、対象や事象を捉える造形的な視点についての知識や理解を深める。意図に応じて表現方法を創意工夫し、造形的に表す技能を身につけている。	感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考察している。主題を生成し創造的に発想し構想を練るなど価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることを探究している。	美術の創造活動や観賞の喜びを味わうとともに主体的に美術の創造活動に取り組もうとしている。また生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、関心をもち、心豊かな生活や社会を創造していくことに取り組もうとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	素描 表現・鑑賞 絵画 表現・鑑賞 デザイン工芸 表現・鑑賞 デザイン基礎 表現・鑑賞	作品	アイディアスケッチ 作品	授業態度 作品 講評会
	評価点			
2 セメ	デザイン応用 表現・鑑賞 彫刻 表現・鑑賞 絵画 表現・鑑賞 映像メディア表現 鑑賞	作品	アイディアスケッチ 作品	授業態度 作品 講評会
	評価点			

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ	4	素描 表現 静物画…野菜や果物など身近な静物を描く。 鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	8
	5	絵画 表現 静物画…野菜や果物など身近な静物を描く。必要に応じて着彩の練習をする。 鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	4
	6	絵画 表現 アクリル画…身近な無機物をアクリル絵の具で描く。	26
	7	鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	
	8	デザイン工芸 表現 紙などの素材を使用し立体構成する。 鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	20
	9	デザイン基礎 表現 野菜や果物などの平面構成を制作する。 鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	12
2 セメ	10	デザイン応用…表現 有機物と無機物を平面構成し制作する。 鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	26
	11	彫刻 表現 紙粘土を素材としたキャラクターの造形表現と着彩をする。	16
	12	鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	
	1	絵画…表現 自由な発想の油絵…静物や風景、空想画や抽象画など自由な発想の作品を制作する。	24
	2	鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	
3	映像メディア表現 鑑賞 日本や世界のアニメーションの紹介や観賞…ICTを活用	4	

5 その他

各題材の取り組み状況と到達度および提出状況また講評会などを参考にし、それぞれ3つの観点を得点化し、総合的に評価する。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	芸術専科研究(書道)	単位数	4
		学年等	6年・文科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	(4) 書道の幅広い活動を通して、書写に関する知識や技能をさらに高める。 (5) 書のよさや美しさを感じ、創造的に構想し、個性豊かに表現をさらに工夫する。 (3)生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
使用教科書 副教材等	なし

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	客観的に作品に対して向き合えたか。 自分で考え、工夫した空間の処理方法や表現方法を評価する。	書く題材をもとに、よりよい作品を作るためにどのような表現を工夫すべきかを考え、筆遣い・墨継ぎ・かすれ・強調したいポイント等を押さえた上で書かれた作品を評価する。	授業道具の準備から作品制作に対する取り組み姿勢、さらに自分自身を見つめ直し、作品制作を通して変化した部分も評価する。
評価点	200	200	200

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	色紙 少字数作品 カレンダー制作 篆刻作品	作品提出	作品提出	作品提出
	評価点	100	100	100
2 セメ	書と写真 掛軸作品 掛軸制作 漢字かな交じり作品	作品提出	作品提出	作品提出
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
----	---	----------	----

1 セメ 前半	4 5 6	制作方法を考える 空間処理を考える	30
1 セメ 後半	6 7 8 9	季節に合った詩を考察できたか 詩に合った書の表現方法 他の作品の鑑賞 草稿作成 刻す 仕上げ	40
2 セメ 前半	9 10 11	空間を意識した写真撮影・文字配置 3点以上の作品を制作 制作(コンセプトの統一)	40
2 セメ 後半	11 12 1 2 3	基となる古典の選択 筆遣い、空間処理の徹底 制作 裏打ちと表具	30

5 その他

作品制作が基本であるが、作成過程も自己研鑽のためには必要な要素である。
理論的な組み立てを行い、計画的に実行してもらいたい。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育	単位数	2
		学年等	6学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育(大修館書店)、Active Sports 総合版(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
評価点	200	200	200

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	I期【体育実技】 ○体づくり運動 ○選択① ・バドミントン ・卓球 ・バレーボール ・バスケットボール ・テニス ・サッカー ・ソフトボール ○体育理論 体育編3単元 豊かなスポーツライフの設計 1. 生涯スポーツの見方・考え方 2. ライフスタイルに応じたスポーツ	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと) 筆記テスト(体育理論)	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント
	50	50	50	
	II期【体育実技】 ○選択② ・バドミントン ・卓球	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと) 筆記テスト(体育理	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント

	<ul style="list-style-type: none"> ・バレーボール ・バスケットボール ・テニス ・サッカー ・ソフトボール <p>○体育理論 体育編3単元 豊かなスポーツライフの設計 3. スポーツを推進する取り組み</p>	論)		
		50	50	50
2セ メス ター	Ⅲ期【体育実技】 ○選択③ <ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン ・卓球 ・バレーボール ・バスケットボール ・テニス ・サッカー ・ソフトボール <p>○体育理論 体育編3単元 豊かなスポーツライフの設計 4. 豊かなスポーツライフの創造</p>	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと) 筆記テスト(体育理論)	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント
		50	50	50
	Ⅳ期【体育実技】 ○選択④ <ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン ・卓球 ・バレーボール ・バスケットボール ・テニス ・サッカー ・ソフトボール 	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと)	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント
	50	50	50	

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
----	---	----------	----

1セ メス ター	4	I期【体育実技】 ○体づくり運動	35
	5	○選択①	
	6	○体育理論 体育編3単元 豊かなスポーツライフの設計 1. 生涯スポーツの見方・考え方 2. ライフスタイルに応じたスポーツ	
	7	II期【体育実技】 ○選択②	
	8 9	○体育理論 体育編3単元 豊かなスポーツライフの設計 3. スポーツを推進する取り組み	
2セ メス ター	10	III期【体育実技】 ○選択③	35
	11	○体育理論	
	12	体育編3単元 豊かなスポーツライフの設計 4. 豊かなスポーツライフの創造	
		IV期【体育実技】	
	1	○選択④	
	2 3		

5 その他

- ・ICT 機器等も活用しながら授業を展開していく。
- ・グループ活動や生徒同士の協同学習の場面も積極的に取り入れながら授業を行い、活動への参加姿勢も評価の対象とする。
- ・種目ごとに学習プリントを提出させ、その都度、評価していく。
- ・実技種目への参加姿勢、授業での取り組みを総合して評価していく。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーションⅢ	単位数	3
		学年等	6年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	英語コミュニケーションⅢの授業内容をさらに深めて学習することにより、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。
使用教科書 副教材等	<p>・「ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION Ⅲ」(東京書籍)</p> <p>英単語ターゲット1900(旺文社) 速読+精読 2-Step Reading 発展編 (数研出版)</p> <p>Clues to Reading 英文解釈の徹底演習 Standard (数研出版)</p> <p>ALL EARS PRE-ADVANCED 改訂版 (美誠社)</p> <p>WIDE ANGLE BOOK 4 アップリフト英語長文読解 入試演習2 (美誠社)</p> <p>10分リーディングプレノート (数研出版)</p> <p>大学入学共通テスト英語【リーディング】対策 Reach 40 (美誠社)</p> <p>大学入学共通テスト英語【リスニング】対策 Reach 30 (美誠社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」の五つの領域において、「英語の特徴やきまりに関する事項」である言語材料、「音声」、「句読法」、「語、連語及び慣用表現」、「文構造及び文法事項」を知識として理解するとともに、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能として身につけている。</p>	<p>「聞くこと」 日常的な話題や社会的な話題について話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて一定の支援を活用すれば必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。</p> <p>「読むこと」 日常的な話題や社会的な話題について使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。</p> <p>「話すこと【やり取り】」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して詳しく話して伝え合ったりすることができる。</p> <p>「話すこと【発表】」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。</p> <p>「書くこと」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。</p>	<p>「聞くこと」 日常的な話題や社会的な話題について話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて一定の支援を活用すれば必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりしようとしている。</p> <p>「読むこと」 日常的な話題や社会的な話題について使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりしようとしている。</p> <p>「話すこと【やり取り】」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して詳しく話して伝え合ったりしようとしている。</p> <p>「話すこと【発表】」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えあおうとしている。</p> <p>「書くこと」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えあおうとしている。</p>
評価点	100	100	100

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1セメ	Unit1~6	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・スピーチ、討論、 要約、発表等	・振り返りシート ・授業中の行動 観察 ・ワークシート
	評価点	100	100	100
2セメ	Unit7~10	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・スピーチ、討論、 要約、発表等	・振り返りシート ・授業中の行動 観察 ・ワークシート
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元	学習内容	時数
1セメ 前半	4 5 6	Unit 1 What thinking and study habits can help us succeed?	[題材内容] 勉強や仕事に有効な考え方や習慣について学ぶ。 [言語活動] 勉強の悩みについて助言し合ったり、効果的な勉強法を話し合ったりする。 [言語の働き] 似た経験を述べ合う、言い換える	30
		Unit 2 How can we use AI to improve education?	[題材内容] AIの進化と社会に与える影響について学ぶ。 [言語活動] 教育においてAIがもたらす利点に関するエッセイを書く。 [言語の働き] 希望を述べる、賛成する、疑念を示す	
		Unit 3 What do folktales tell us about human values?	[題材内容] 文化人類学の観点から、世界の民話の特徴や類型を学ぶ。 [言語活動] 民話を語り、その教訓について話し合う。 [言語の働き] 意見を受け止める、別の意見を述べる	
1セメ 後半	7 8 9	Unit 4 What items would you place in a time capsule?	[題材内容] 「タイムカプセル」に残された物から何を学べるか、未来に向けて何を残したいかを考える。 [言語活動] 学校や地域の象徴として何をタイムカプセルに入れるかを話し合い、発表する。 [言語の働き] 賛成・反対する、提案する	27
		Unit 5 What are the rewards and challenges of living in a different culture?	[題材内容] 古今東西の事例から、異文化の中で暮らすことの意義と困難について考える。 [言語活動] 異文化の中で暮らすことで得られるものと直面する困難についてエッセイを書く。 [言語の働き] 理由を述べて断る	

2セメ 前半	10	Unit 6 How can art be made accessible to all?	[題材内容] だれもが楽しめる芸術のあり方について考える。 [言語活動] 芸術作品を描写したり, 作品から感じたことを話し合ったりする。 [言語の働き] 相手の発言を訂正する	21
	11	Unit 7 How can we preserve life below water?	[題材内容] 持続可能な社会のための資源の開発や養殖の取り組みについて知る。 [言語活動] 身近な魚について, その生態や問題に関するレポートを書く。 [言語の働き] 勧める, 断る, 理由を尋ねる	
2セメ 後半	12 1	Unit 8 Is there anything money can't buy?	[題材内容] スポンサーシップや命名権などの金銭と倫理の問題について知る。 [言語活動] 学校の命名権を売ることについて意見を述べ合う。 [言語の働き] 提案する, 意義を示す	27
		Reading Enrichment 1	[題材内容] Nineteen Eighty-Four by George Orwell(抜粋) [言語活動] 架空の世界を想像して読む	
		Reading Enrichment 2	[題材内容] Dead Men's Path by Chinua Achebe [言語活動] 書き手の意図を考えながら読む	

5 その他

<p>【課題・提出物など】</p> <p>◎Unit Activity の発表、ライティング ◎授業用ワークシート</p> <p>【評価方法】</p> <p>①言語活動の取り組み状況の観察(思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>②パフォーマンステスト[Unit Activity の発表、ライティング、Speaking Review Task](思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>③上記課題等の提出(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>④小テスト、定期考査、評価問題など(知識・技能、思考・判断・表現)</p>

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理表現Ⅲ	単位数	2
		学年等	6年生全員

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。
使用教科書副教材等	・使用教科書: CROWN Logic and Expression Ⅲ (三省堂) DUAL SCOPE 総合英語 (数研出版) Retelling Master (啓林館) Vintage 英文法・語法 3rd Edition (いっぴな書店) 英語の構文 80UPGRADED (美誠社) 入試必携 英作文 Write to the point 四訂版 (数研出版) 大学入学共通テスト英語【リーディング】対策 Reach 40 (美誠社) 大学入学共通テスト英語【リスニング】対策 Reach 30 (美誠社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	[知識] 各課の文法等について理解している。表現形式と機能を理解している。 [技能] 聞いて得た情報を伝えたり、相手に薦めたりする際のやり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを伝え合う技能を身に付けている。	複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して表現して伝えたり、相手からの質問に回答したりしている。論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながらスピーチやディスカッションやディベートができる。	主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して伝えようとしたり、相手からの質問に回答したりしようとしている。主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながら主体的にスピーチやディスカッションやディベートができる。
評価点	100	100	100

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1セメ	Unit1~5	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・スピーチ、討論、要約、発表等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
	評価点	100	100	100
2セメ	Unit6~10	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・スピーチ、討論、要約、発表等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

	課	タイトル	主な言語材料	題材/場面	はたらき	時数
1セメ 前半	L1	Global Language	時制・助動詞・受動態 ／ 賛成・反対の表現	言語・外国語／スピーチ、ディスカッション、手紙を書く	賛成・反対する、主張する、理由を述べる	20
	L2	Millennials' Consumption Trends	不定詞・動名詞・分詞 ／ 例証の表現	経済・ビジネス／プレゼンテーション、ディベート、エッセイを書く	例を挙げる、説明する、主張する、理由を述べる	
	C1	エッセイを要約してみよう				
1セメ 後半	L3	Space Odyssey	仮定法・接続詞/ 時間的順序を表す表現	科学・技術／スピーチ、ディスカッション、レポートを書く	説明する、理由を述べる、意見を述べる	18
	L4	Art or Graffiti?	比較・関係詞/ 確信／提案・勧誘/ 伝聞の表現	芸術／プレゼンテーション、ディベート、投稿文を書く	意見を述べる、理由を述べる	
	C2	効果的なパラグラフにするために①				
2セメ 前半	L5	Media and Information Literacy	疑問詞/ 忠告・義務／必要/ 譲歩の表現	情報・リテラシー／スピーチ、ディスカッション、エッセイを書く	意見を述べる、理由を述べる	14
	L6	Are You a Great Creative Thinker?	否定/ 比較・対照を表す表現	創造性／プレゼンテーション、エッセイを書く	説明する、意見を述べる、理由を述べる	
	C3	効果的なパラグラフにするために②				
2セメ 後半	L7	Green Wisdom	名詞・冠詞/ 統計資料を説明する表現	環境／スピーチ、ディスカッション、エッセイを書く	説明する、意見を述べる、理由を述べる、例を挙げる	18
	L8	What Is Happiness?	特殊構文/ 因果関係を表す表現	平和・幸福論／プレゼンテーション、ディスカッション、エッセイを書く	説明する、意見を述べる、理由を述べる、例を挙げる	
	C4	日本語と英語の表現を比較してみよう				

5 その他

<p>【課題・提出物など】</p> <p>◎提出用副教材</p> <p>◎授業用ワークシート</p> <p>【各考査成績の評価方法】</p> <p>①言語活動の取り組み状況の観察(思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>②パフォーマンステスト(思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>③上記課題等の提出(知識・技能, 思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>④小テスト, 第1回～第4回考査, 評価問題など(知識・技能, 思考・判断・表現)</p>
--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語演習	単位数	2
		学年等	6年生文科型選択者

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 英語コミュニケーションⅢの授業内容をさらに深めて学習することにより、言語や文化に対する理解を深め、「きくこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の技能を高める。</p> <p>(2) 情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力、表現力を養う。</p> <p>(3) 日常的にコミュニケーションをとろうとする積極的な態度を養う。</p>
使用教科書副教材等	<p>・「ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION Ⅲ」(東京書籍)</p> <p>・Clues to Reading 英文和訳の徹底演習(数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」の五つの領域において、「英語の特徴やきまりに関する事項」である言語材料、「音声」、「句読法」、「語、連語及び慣用表現」、「文構造及び文法事項」を知識として理解するとともに、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能として身につけている。</p>	<p>「聞くこと」 日常的な話題や社会的な話題について話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて一定の支援を活用すれば必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。</p> <p>「読むこと」 日常的な話題や社会的な話題について使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。</p> <p>「話すこと【やり取り】」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して詳しく話して伝え合ったりすることができる。</p> <p>「話すこと【発表】」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。</p> <p>「書くこと」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。</p>	<p>「聞くこと」 日常的な話題や社会的な話題について話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて一定の支援を活用すれば必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりしようとしている。</p> <p>「読むこと」 日常的な話題や社会的な話題について使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりしようとしている。</p> <p>「話すこと【やり取り】」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して詳しく話して伝え合ったりしようとしている。</p> <p>「話すこと【発表】」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えあおうとしている。</p> <p>「書くこと」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えあおうとしている。</p>
評価点	100	100	100

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	Unit1~5	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・スピーチ、討論、 要約、発表等	・振り返りシート ・授業中の行動 観察 ・ワークシート
	評価点	100	100	100
2 セメ	Unit6~10	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・スピーチ、討論、 要約、発表等	・振り返りシート ・授業中の行動 観察 ・ワークシート
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ 前半	4	Unit1~2 コミュニケーション英語Ⅲの発展的な学習 (英文解釈、要約、資料読み取り、ディベート、リテリング、essay writing など)	20
	5		
	6		
1 セメ 後半	6	Unit3~5 コミュニケーション英語Ⅲの発展的な学習 (英文解釈、要約、資料読み取り、ディベート、リテリング、essay writing など)	18
	7		
	8		
	9		
2 セメ 前半	9	Unit6~7 コミュニケーション英語Ⅲの発展的な学習 (英文解釈、要約、資料読み取り、ディベート、リテリング、essay writing など)	14
	10		
	11		
2 セメ 後半	11	Unit8~10 コミュニケーション英語Ⅲの発展的な学習 (英文解釈、要約、資料読み取り、ディベート、リテリング、essay writing など)	18
	12		
	1		
	2		
	3		

5 その他

<p>【課題・提出物など】</p> <p>◎Unit Activity の発表、ライティング ◎授業用ワークシート ◎準拠『本文学習ノート』</p> <p>【評価方法】</p> <p>①言語活動の取り組み状況の観察(思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>②パフォーマンステスト[Unit Activity の発表、ライティング、Speaking Review Task](思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>③上記課題等の提出(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>④小テスト、定期考査、評価問題など(知識・技能、思考・判断・表現)</p>

年間指導計画表(シラバス)

科目名	情報研究	単位数	1
		学年等	6

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 5年次に学習した内容をさらに発展させ、情報に関する科学的な見方・考え方を理解するとともに、関連する技術をさらに身につけさせることを目指す。</p> <p>(2) 情報技術を活用して情報産業と社会との関わりに関する課題を発見し、解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用させることを目指す。</p> <p>(3) 情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを旨す。</p>
使用教科書 副教材等	<p>・プリント等</p> <p>・その他新規テキスト</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。</p>	<p>事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。</p>	<p>情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。</p>
評価点	100	100	100

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1セメ	<p>第1章 情報社会と私たち</p> <p>第2章 メディアとデザイン</p> <p>第3章 システムとデジタル化</p>	<p>・小テスト、実習課題等</p>	<p>・小テスト、実習課題等</p>	<p>・実習課題等</p>
	評価点	50	50	50
2セメ	<p>第4章 ネットワークとセキュリティ</p> <p>第5章 問題解決とその方法</p> <p>第6章 アルゴリズムとプログラミング</p>	<p>・小テスト、実習課題等</p>	<p>・小テスト、実習課題等</p>	<p>・実習課題等</p>
	評価点	50	50	50

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ 前半	4 5 6	第1章 情報社会と私たち ・1 情報社会 ・2 情報社会の法規と権利 ・3 情報技術が築く新しい社会 第2章 メディアとデザイン ・1 メディアとコミュニケーション ・2 情報デザイン ・3 情報デザインの実践 Web ページ制作	8
1セメ 後半	6 7 8 9	第3章 システムとデジタル化 ・1 情報システムの構成 ・2 情報のデジタル化 第4章 ネットワークとセキュリティ ・1 情報通信ネットワーク ・2 情報セキュリティ	8
2セメ 前半	9 10 11	第5章 問題解決とその方法 ・1 問題解決 ・2 データの活用 ・3 モデル化 ・4 シミュレーション	8
2セメ 後半	11 12 1 2 3	第6章 アルゴリズムとプログラミング ・1 プログラミングの方法 ・2 プログラミングの実践 学年通しての復習	8

5 その他

- ・前年度行った学習なので、基本的には問題等による復習を主とする。
- ・計算、分析、プログラミング等の思考を伴う学習を重点的に行う。